の様々なくみあわせで出現する．このような痙性斜頸は薬剤治療では十分な症状寛解を得ることは困難で，欧米では神経筋接合部に選択的に作用するボツリヌス毒素の微量注射が第一選択となっている．しかし現時点では本邦でこの治療を一般的に行うことはできない．一方，従来から視床などを標的とする定位脳手術や脊髄硬膜外電気刺激などの外科的治療が試みられてきたが，これらの効果は不定であった．演者らは，異常収縮をきたしている筋肉への神経支配を末梢で選択的に遮断する手術方法を14症例に行い，良好な結果をおさめている．今回はその現状ならびに異常収縮筋の同定に関する新しい画像診断法について報告する．

4．術中効果判定のための quick PTH assay の検討

(1ラジオアイソトープ検査科，2内分泌外科)
地曳和子1・小田桐恵美1・
出村黎子1・小原孝男2

〔目的〕原発性副甲状腺機能亢進症における腺腫摘出術の術中効果判定のため，血中インタクト PTH の迅速測定法の検討を行った．

〔方法および結果〕測定には IRMA 法によるインタクト PTH キットを使用した．反応時間は通常では室温，22時間で行っているが，quick assay では37°C15分で行った．

最小検出感度は，quick assay では16pg/ml で通常法の5pg/ml に比し劣ったが，通常測定法との相関は $y=0.806x+8.213$，$r=0.933$ と良好であった．

9名の原発性副甲状腺機能亢進症の術中の PTH 値は，37°C15分の条件で5分後には前値の8～56%，10分後13～51%，15分後15～47%と低下した．迅速測定法では報告まで40分，検体搬送や結果報告を含め1時間程必要であった．

〔結語〕腺腫の有効な摘出の基準は術後5分で前値の50%以下とされているが，迅速 PTH の測定は腺腫切除の効果の指標となり得た．しかし，更に時間短縮と感度の改善が課題と考えられた．

5．慢性関節リウマチにおける手関節再建術の検討

(膠原病リウマチ痛風センター整形外科)
馬見塚恭子・桃原茂樹・
斎藤聖二・井上和彦

〔目的〕我々は，慢性関節リウマチの手関節再建に際し，主に Sauve-Kapandji 法（S-K）を行い，症例により部分固定術・全固定術を追加してきた．今回，S-K 群と部分固定術追加群の成績の比較・検討を行ったので報告する．

〔方法〕対象は術後1年6カ月以上経過した92例102関節である．関節破裂進行度の評価は Larsen の grade 分類を用い，術式選択の基準とした．X 線学的な検討として carpal height ratio（CHR）と carpal radial distance ratio（CRDR：橈骨中心軸の延長から有頭骨の回転中心までの距離を第3中手骨長で除した数値）を術前と最終経過観察時で計測し，比較した．

〔結果〕76関節に S-K 法のみ，5関節に部分固定術追加，5関節に全固定術追加，16関節に滑膜切除術のみを行った．CHR は S-K 群で減少するのに対し，部分固定術群では変動しなかった．CRDR は S-K 群で増加するのに対し，部分固定術群では減少した．手関節可動域は全般に改善していた．

〔考察〕S-K 法は手根骨の圧壊と近位手根骨列の尺側移動を完全には抑制できないが，可動域を保持しつつ橈手根関節の安定性が得られ，RA 手関節障害に対し有効であると考える．部分固定術は近位手根骨列の尺側移動を抑制でき，ある程度の可動域を保持できるものの，症例によってはプッシュ困難等の ADL 制限をきたすことがあり，手関節動揺性を認める場合に有効な手術と考える．

6．膵癌におけるテロメラーゼ活性および K-ras 遺伝子異常に関する検討

(1中央検査部臨床生化学検査科，2消化器病センター内科，3同外科)　小山祐康1・
渡辺伸一郎1・西野隆義2・土岐文武2・
林　直諒2・原田信比古3・羽鳥　隆3・
今泉俊秀3・高崎　健3

〔目的〕テロメラーゼは細胞の癌化に重要な関わりを持つと考えられており，様々な悪性腫瘍でその活性が示されている．K-ras 点突然変異も膵癌との相関性が高いとされている．我々は同一膵腫瘍組織を用いてテロメラーゼ活性および K-ras 点突然変異を測定し，その診断能について検討した．さらに，膵癌の進行度および組織分化度とテロメラーゼ活性の関連性についても検討した．

〔対象と方法〕膵癌8例，他疾患手術および病理解剖より得られた正常膵3例の切除生標本より直ちに腫瘍組織を採取し凍結保存した．テロメラーゼ活性は TRAP 法で，K-ras 点突然変異は PHFA と ELISA のフォーマットを組み合わせた方法で，またテロメア長をサザンブロット法にて測定した．

〔結果〕テロメラーゼ活性は膵癌8例全例に陽性であ